

南城市地域公共交通再編実施計画の改定概要

令和6年1月

南 城 市

1 見直し内容

1.1 見直し概要

- 幹線バスについては、今年度、9月（東陽バス）、12月（沖縄バス、東陽バス）に2回の見直しを行いました。運転手の労働時間等の基準改正による労働時間の制限（2024年問題）への対応のため、2024年1月22日に、幹線バスの減便を行います。
- 見直し路線は、系統51番、系統54番、系統50番、系統83番の4系統でいずれも琉球バス交通の路線になります。

表 1.2024年1月の見直し内容

区分	系統	見直し内容	
支線バス（Nバス）	—	見直しなし	
幹線バス （路線バス）	国道331号（佐敷・知念方面）	見直しなし	
	県道48号線・86号線（大里・玉城方面）	51	平日の増便、土曜日・日祝日の減便 平日：24便→25便（▲1便） 土曜日：18便→13便（▲5便） 日祝日：18便→13便（▲5便）
		54	増減便なし、ダイヤの見直し
	国道331号・県道17号線（玉城方面）	50	平日・日祝日の減便、土曜日の増便 平日：58便→47便（▲11便） 土曜日：32便→34便（+2便） 日祝日：32便→25便（▲7便）
		83	平日・土曜日・日祝日の減便 平日：16便→14便（▲2便） 土曜日：18便→11便（▲7便） 日祝日：18便→6便（▲12便）
県道77号線（大里方面）	—	見直しなし	

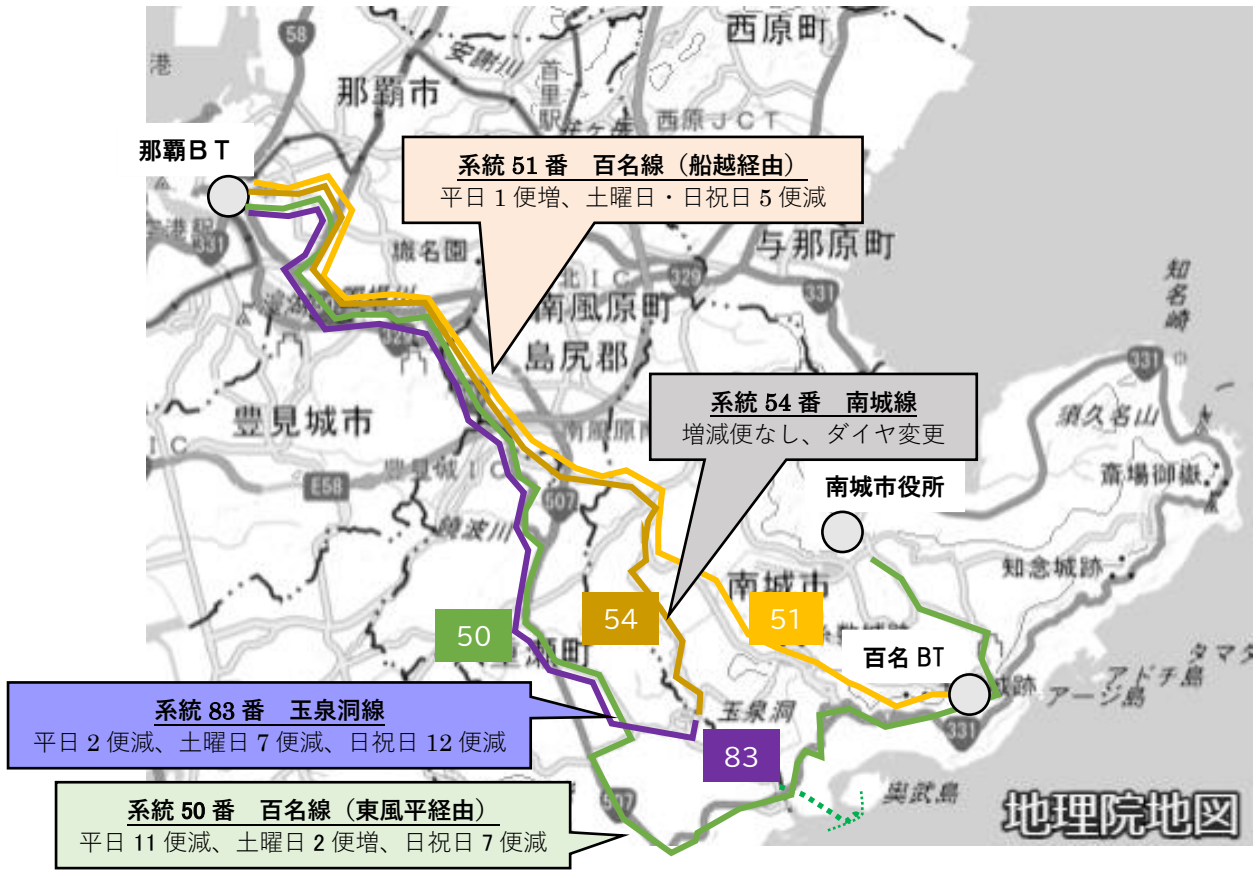


図 1.2024 年 1 月見直し路線のルート

1.2 幹線バスの見直し

(1) 県道 48 号線・86 号線（大里・玉城方面）

- 県道 48 号線・86 号線（大里・玉城方面）では、系統 51 番で増減便、系統 54 番でダイヤの見直しを行います。
- 系統 51 番は平日で 1 便増便、土曜日・日祝日で 5 便減便となります。

表 2. 県道 48 号線・86 号線（大里・玉城方面）の再編概要

系統番号	系統名	平日便数	事業者	2019 年度再編	2020 以降の再編	備考
40 番	大里線	42 便	沖縄バス	一部便を南城市役所まで延伸。大里第二団地経由は廃止。	2020 年 4 月より大城駐機場止まりは廃止。 2022 年 5 月より減便	結の街（浦添市国立劇場前）発着を設け、309 番系統として新設。2023 年 12 月減便
309 番	大里～結の街線	—	沖縄バス	結の街～大城・市役所を結ぶ路線を新設。	2020 年 4 月より大城駐機場止まりは廃止。 2022 年 5 月より一部便がパルコまで延伸。	新設。2023 年 12 月増便
109 番	大里線	6 便	沖縄バス	廃止。	廃止。	40 番と統合。
51 番	百名線	17 便	琉球バス	変更なし。	百名バスターミナルから南城市役所まで延伸。	地域公共交通確保維持事業の補助路線であることから、関係市町村との調整が必要。 2024 年 1 月増減便
53 番	志喜屋線	17 便	琉球バス	51 番と統合、富里～奥武間、百名BT～志喜屋間の廃止。		//
54 番	前川線	4 便	琉球バス	変更なし。	変更なし。	2024 年 1 月ダイヤ見直し

※表の「平日便数」は 2019 再編前

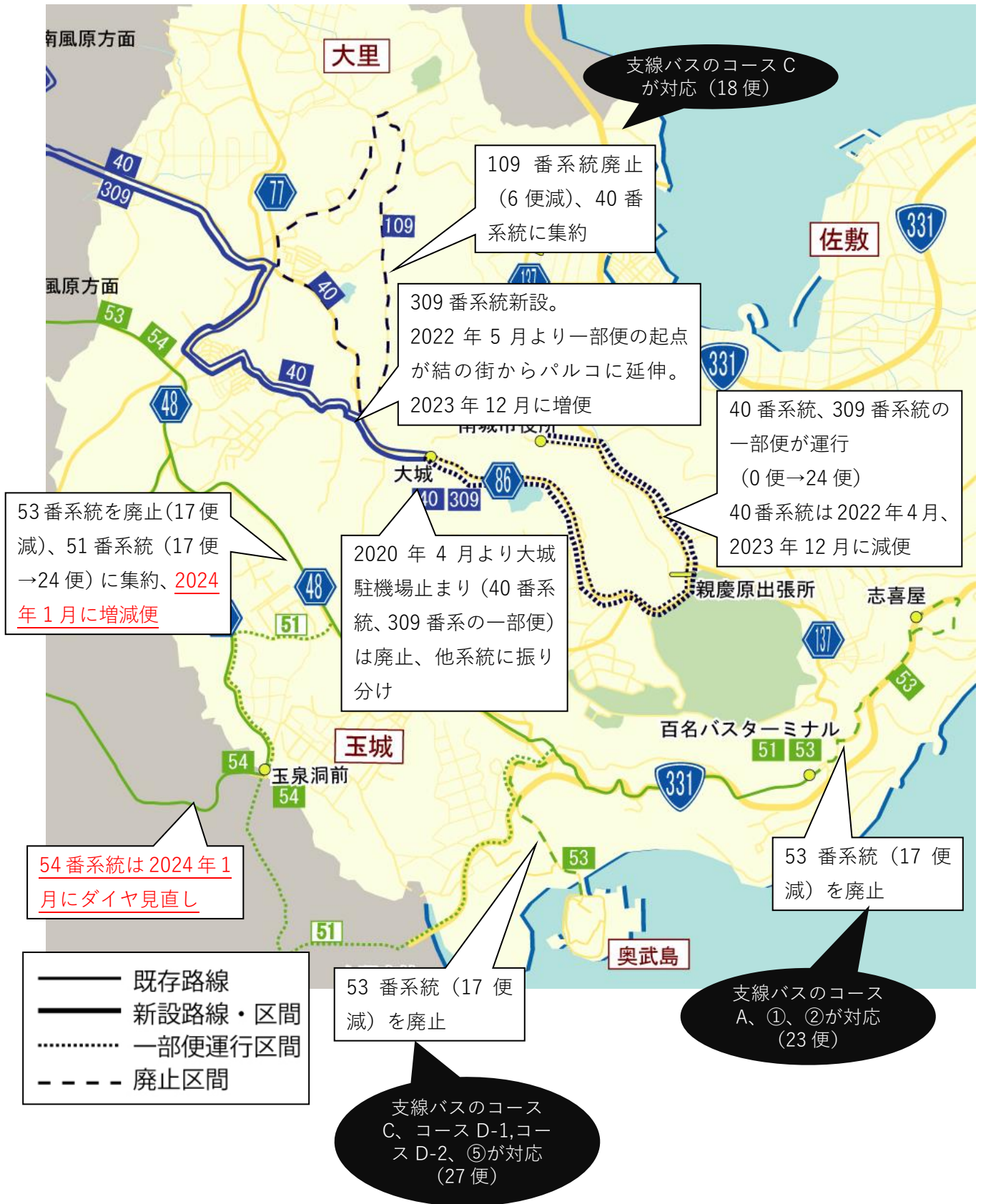


図 2. 県道 48 号線・86 号線(大里・玉城方面)の幹線バスの再編内容

(2) 国道 331 号・県道 17 号線（玉城方面）

- 国道 331 号・県道 17 号線（玉城方面）では、系統 50 番で増減便、系統 83 番で減便します。
- 系統 50 番は平日で 11 便減便、土曜日で 2 便増便、日祝日で 7 便減便、系統 83 番は、平日で 2 便減便、土曜日で 7 便減便、日祝日で 12 便減便となります。

表 3.国道 331 号・県道 17 号線(玉城方面)の再編概要

系統番号	系統名	平日便数	事業者	2019 年度再編	2020 以降の再編	備考
50 番	百名線	48 便	琉球バス	登校時は百名バスターミナル～南城市役所まで延伸。	2020 年度より増便。	2024 年 1 月増減便
81 番	西崎向陽高校線	4 便	琉球バス	変更なし。	変更なし。	
82 番	玉泉洞糸満線	24 便	琉球バス	変更なし。	変更なし。	
83 番	玉泉洞線	12 便	琉球バス	変更なし。	玉泉洞前～糸数入口～南城市役所まで延伸。	事業者にて市外区間での見直しも検討。 2024 年 1 月減便

※表の「平日便数」は 2019 再編前



図 3.国道 331 号・県道 17 号線(玉城方面)の幹線バスの再編内容

2 収支の見直し

2.1 再編事業の事業費

(1) 支線バス

●支線バスの事業費は、今回見直しで変更がないため、前回見直しの2024年12月と同額です。

表 4.2024年1月見直し時の支線バスの事業費

系統番号	運行主体	運行区間	事業費 (千円)
A-1/A-2 知念・佐敷一周線	沖縄バス	市役所～馬天～佐敷～安座真～志喜屋～百名～親慶原～市役所	33,000 /33,000
A-3 知念・佐敷一周線(つきしろ経由)	沖縄バス	東つきしろ～馬天小前～佐敷小前～知念小前～市役所	0 /0
B-1/B-2 ニライカナイ橋・つきしろ線	沖縄バス	市役所～親慶原～安座真～佐敷～馬天～市役所	26,700 /26,700
C-1/C-2 玉城・大里一周線	沖縄バス	市役所～親慶原～百名～奥武～船越～稲嶺～仲程～大城～市役所	28,300 /28,300
D-1 玉城東回り線	沖縄バス	玉城東地域を回る通勤・通学ルート	1,800 /1,800
D-2 玉城東回り線(向陽高校経由)	沖縄バス	玉城地域及び向陽高校下校時のルート	3,100 /3,100
E 知念南回り線	沖縄バス	市役所～つきしろの街～志喜屋～百名～市役所	0 /0
F-1 玉城西回り線	沖縄バス	市役所～系数～前川～湧稲国～船越～市役所	700 /700
F-2 玉城西回り線(玉城幼稚園経由)	沖縄バス	喜原～系数～前川～船越～玉城幼稚園～市役所	600 /600
F-3 玉城一周線(玉泉洞経由)	沖縄バス	市役所～玉幼～愛地～堀川～百名～親慶原～市役所	1,000 /1,000
G 向陽高校線(大里経由)	沖縄バス	市役所～嶺井～仲程～湧稲国～船越～向陽高校入口	800 /800
H 知念高校線(大里経由)	沖縄バス	市役所～知念高校～仲程～湧稲国～系数～市役所	0 /0
小計			96,000 /96,000

※上段が2023年12月、下段が2024年1月

支線バスの事業費は、路線別の年間の走行キロに燃料費を乗じ、人件費及び車両費は各系統で共有しているため、全体の費用を年間の走行キロで按分して路線毎に割り当てて算出しています。

(2) 幹線バス・デマンド交通

- 幹線バスの事業費は、減便等により 2023 年 12 月の 86,700 千円/年から、2024 年 1 月は 82,900 千円/年と 3,800 千円/年減少します。
- デマンド交通は、2023 年 12 月、2024 年 1 月ともに、44,300 千円/年で変化はありません。
- 全体の事業費は、2023 年 12 月の 227,000 千円/年から、2024 年 1 月は 223,200 千円/年へと 3,800 千円/年減少します。

表 5.2024年1月見直し時の幹線バス・デマンド交通・全体の事業費

区分	系統番号	運行主体	運行区間	車両	運転手	事業費 (千円)
幹線バス	37 番系統	東陽バス	那覇 BT~馬天入口~新里~馬天営業所・南城市役所	13	23	8,100 /8,100
	38 番系統	東陽バス	那覇 BT~馬天入口~志喜屋			3,500 /3,500
	338 番系統	東陽バス	那覇 BT~馬天入口~斎場御嶽入口			4,800 /4,800
	39 番系統	沖縄バス	那覇 BT~馬天入口~南城市役所	5	9	6,800 /6,800
	339 番系統	沖縄バス	結の街~那覇 BT~南城市役所			3,900 /3,900
	40 番系統	沖縄バス	那覇 BT~大城・南城市役所	4	8	12,000 /12,000
	309 番系統	沖縄バス	結の街~那覇 BT~大城・南城市役所			13,100 /13,100
	51 番系統	琉球バス	那覇 BT~稲嶺十字路~玉城中学校前~百名 BT	13	20	15,200 /14,500
	50 番系統	琉球バス	那覇 BT~向陽高校~中山~百名 BT・南城市役所			14,300 /11,200
	36 番系統	沖縄バス	糸満 BT~仲程~馬天入口~南城市役所	他系統と運用		5,000 /5,000
		小計			35	60
デマンド交通	おでかけなんじい	鏡原第一交通	久高島を除く南城市内全域	3	6	44,300 /44,300
	計			44	77	227,000 /223,200

※上段が 2023 年 12 月、下段が 2024 年 1 月

幹線バスの事業費は、路線別の年間の走行キロに走行キロあたり運行経費を乗じて算出しています。

2.2 再編事業の収入見込み

- 2024年1月の見直しでは、利用者が多い朝夕の便数はおおむね維持しつつ、利用者が少ない時間帯での減便を行うことから、利用者数の減少は限定的であり、幹線バスの収入は見直し前と同じ158,200千円/年を見込んでいます。

表 6.再編事業の収入見込み

区分	収入見込み(千円/年)		増減	備考
	2023.12	2024.1		
支線バス	42,300	42,300	±0	
幹線バス	158,200	158,200	±0	
デマンド交通	5,300	5,300	±0	
計	205,800	205,800	±0	

2.3 収支の見込み

(1) 支線バス

- 支線バスの収支は、特に変更はなく、赤字額は見直し前と同額の53,700千円/年を見込んでいます。

表 7.支線バスの収支見込み

系統名	収入(千円)			支出(千円)			収支(千円)		
	2023.12	2024.1	増減	2023.1	2024.1	増減	2023.12	2024.1	増減
A1: 佐敷・知念・百名線									
A2: 百名・知念・佐敷線	19,300	19,300	0	32,900	32,900	0	▲ 13,600	▲ 13,600	0
B1: 佐敷・ニライカナイ橋・つきしろ線									
B2: つきしろ・ニライカナイ橋・佐敷線	7,200	7,200	0	26,300	26,300	0	▲ 19,100	▲ 19,100	0
B3: つきしろ線	200	200	0	600	600	0	▲ 400	▲ 400	0
C1: 玉城・大里線									
C2: 大里・玉城線	12,100	12,100	0	28,200	28,200	0	▲ 16,100	▲ 16,100	0
D1: 玉城東回り線	900	900	0	1,800	1,800	0	▲ 900	▲ 900	0
D2: 玉城東回り線(向陽高校経由)	1,700	1,700	0	3,100	3,100	0	▲ 1,400	▲ 1,400	0
F1: 玉城西回り線	200	200	0	700	700	0	▲ 500	▲ 500	0
F2: 玉城西回り線(玉城こども園経由)	200	200	0	600	600	0	▲ 400	▲ 400	0
F3: 玉城一周線(玉泉洞経由)	400	400	0	1,000	1,000	0	▲ 600	▲ 600	0
G: 向陽高校線(大里経由)	100	100	0	800	800	0	▲ 700	▲ 700	0
計	42,300	42,300	0	96,000	96,000	0	▲ 53,700	▲ 53,700	0

(2) 幹線バス

●幹線バスの収支は、減便により支出が削減されることで、黒字額は、2023年12月の71,500千円/年から、2024年1月は75,300千円/年へと3,800千円/年改善される見込みです。

表 8.幹線バスの収支見込み

系統名	収入(千円)			支出(千円)			収支(千円)		
	2023.12	2024.1	増減	2023.12	2024.1	増減	2023.12	2024.1	増減
37番系統	13,800	13,800	0	8,100	8,100	0	5,700	5,700	0
38番系統	22,500	22,500	0	3,500	3,500	0	19,000	19,000	0
338番系統	26,800	26,800	0	4,800	4,800	0	22,000	22,000	0
39番系統	30,000	30,000	0	6,800	6,800	0	23,200	23,200	0
339番系統	5,000	5,000	0	3,900	3,900	0	1,100	1,100	0
40番系統	13,500	13,500	0	12,000	12,000	0	1,500	1,500	0
309番系統	9,000	9,000	0	13,100	13,100	0	▲ 4,100	▲ 4,100	0
51番系統	13,000	13,000	0	15,200	14,500	▲ 700	▲ 2,200	▲ 1,500	700
50番系統	23,900	23,900	0	14,300	11,200	▲ 3,100	9,600	12,700	3,100
36番系統	700	700	0	5,000	5,000	0	▲ 4,300	▲ 4,300	0
琉球バス交通	36,900	36,900	0	29,500	25,700	▲ 3,800	7,400	11,200	3,800
沖縄バス	58,200	58,200	0	40,800	40,800	0	17,400	17,400	0
東陽バス	63,100	63,100	0	16,400	16,400	0	46,700	46,700	0
計	158,200	158,200	0	86,700	82,900	▲ 3,800	71,500	75,300	3,800

(3) デマンド交通

●デマンド交通の収支は、運行計画に変更がないことから、2023年12月と同額の39,000千円/年の赤字となります。

表 9.デマンド交通の収支見込み

区分	収入(千円)	支出(千円)	収支(千円)
2323.12 再編	5,300	44,300	▲ 39,000
2324.1 再編	5,300	44,300	▲ 39,000

(4) 収支のまとめ

●2023年12月の収支は21,200千円/年の赤字から、2024年1月は17,400千円/年の赤字へと3,800千円/年改善される見込みです。

表 10 .2024年1月再編の収支見込みのまとめ

	収入			支出			収支		
	2023.12	2024.1	増減	2023.12	2024.1	増減	2023.12	2024.1	増減
支線バス	42,300	42,300	0	96,000	96,000	0	▲ 53,700	▲ 53,700	0
幹線バス	158,200	158,200	0	86,700	82,900	▲ 3,800	71,500	75,300	3,800
デマンド交通	5,300	5,300	0	44,300	44,300	0	▲ 39,000	▲ 39,000	0
計	205,800	205,800	0	227,000	223,200	▲ 3,800	▲ 21,200	▲ 17,400	3,800

2.4 2024年1月再編の評価のまとめ

●2024年1月の再編により、幹線バスが減便されることで、総走行台キロは、2024年12月の103万4千km/年から、101万7千km/年へと1万7千km/年減少します。

表 11. 2024年1月再編での総走行台キロの変化

	台キロ		
	2023年12月	2024年1月	増減
支線バス	661,000	661,000	0
幹線バス	373,000	356,000	▲ 17,000
計	1,034,000	1,017,000	▲ 17,000